



令和5年4月17日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第1号

第1学期始業式 学校長式辞

2年生・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。今日から令和5年度が始まり、皆さんの新しい学年がスタートしました。

まずは、春休み中に事故などなく、元気に登校できたことをうれしく思います。今回の春休みは16日間で、ちょっと長い春休みでしたが、家庭学習や部活動、家庭での役割などしっかりできたでしょうか。



3月26日～28日に熊本県で行われた第19回都道府県対抗全日本中学校男子ソフトボール大会に、藤本 優希くんが広島県代表として出場し、見事全国2位という立派な成績を収めることができました。本当に凄いことです、おめでとうございます。また、4月8日に行われた呉市中学校ソフトテニス3年生大会男子の部では、藤本・石原組が3位、小寺颯・船田組がベスト8、女子の部では、高島・日浦組がベスト8、岩崎・旗岡組がベスト16になりました。来週の呉市民大会では、2年生も参加しますので、ベストメンバーで頑張ってもらいたいと思っています。

さて、明日は入学式が行われ、新入生8名入学します。また、木原 琉暉くんが2年生に転入し、来年度の生徒数は29名となります。そして、新しく特別支援学級である「虹色学級」が新設され、5学級となりました。更に、先程の就任式では新しく5名の先生を紹介しました。

このような新しい環境では子どもも大人も期待と不安でいっぱいです。そんなときには、互いに声を掛け合い、助け合ったり、教え合ったりすることで不安を減らし、楽しさを増やしていきましょう。

今年度も先生方は、皆さんの心に寄り添いながら学校生活をもっと充実させたいと思っています。学校では、先生は皆さんの指導者であり、人生の良き先輩に当たります。これからも沢山のことを教えてくれます。

しかし、先生が替わると今までの先生が言っていたことと「何か違う」と思うことがあると想像しています。しかし、心配する必要はありません、なぜなら、話す言葉や内容は違ってても、すべての先生は皆さんが成長するために指導しているからです。つまり、目指す方向は「生徒の皆さんの成長のため」であり、今までと同じだからです。そして、先生方には、指導をする目的や理由を説明しながら、言葉足らずにならないよう丁寧に指導してもらおうようお願いしています。

ですから、皆さんもしっかり説明を聞いて、安心して学校生活を送ってほしいと願っています。

3年生は最上級生としての自覚と進路の実現に向けて、決意を新たにしていると思います。2年生は後輩ができるという自覚と中堅学年として頑張ろうとしていると思います。

そのような思いから、皆さんが頑張る姿を今年度も沢山見ることができるとを期待しています。

最後に、新型コロナウイルス感染症に対する対応について、説明します。

皆さんも知っているように、一般社会では新型コロナウイルス対策としてのマスクの着用について、3月13日から屋内・屋外を関係なく「着用するかどうかは個人の判断が基本」となっています。学校では4月1日から同じ考え方になっています。そのため、学校内においても、生徒の皆さんや先生方に対して、マスクの着用を求めないことを基本とします。つまり、個人の判断が基本となります。しかし、マスクの着用が推奨される場面では、マスクをすることを勧めるはあります。ただし、マスクを付けること、外すことを強制することはありません。そして、マスクを付けている、付けていないということで、差別したり、偏見をもったりすることは絶対にないようにしてください。

手洗い・咳エチケット、手指消毒、こまめな換気などの基本的な感染対策は今後も必要ですが、様々な行事を行っていかうと考えています。



令和5年4月10日
呉市立蒲刈中学校
校長 柿林 浩彦